



平成31年2月15日

「歩くまち・京都」推進会議の役割

「歩くまち・京都」総合交通戦略

数値目標: 非自動車分担率 72%→80%以上

戦略の着実な推進により基本理念を具現化

シンボルプロジェクトをはじめ94の実施プロジェクトの推進

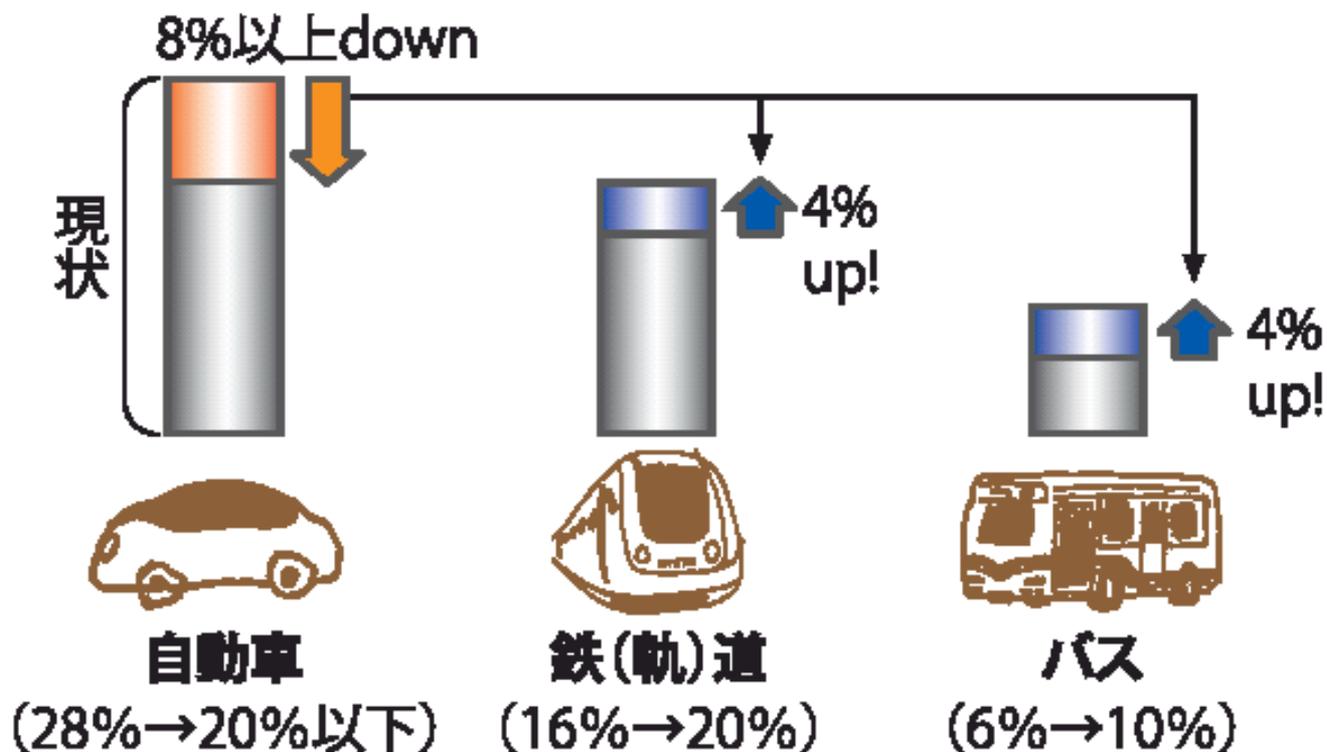
進捗状況を確認し、施策
の効果検証を行う

戦略の見直しを
幅広い観点から確認

人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現

「歩くまち・京都」総合交通戦略の数値目標

非自動車分担率をH12の72%から80%以上にまで上げていく，脱「クルマ中心」社会を目指します。

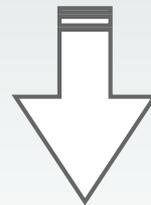


「歩くまち・京都」総合交通戦略の実施プロジェクトの推進

基本理念

自動車交通の制限を含めた様々な抑制策等を通じてクルマを重視したまちと暮らしを、「歩く」ことを中心としたまちと暮らしに転換していく。

京都議定書誕生の地であり、環境モデル都市でもある京都が日本を代表する「国際文化観光都市」であると同時に、まちの賑わいを生み出す都市であり続けることを目指す。



脱「クルマ中心」社会を実現するためには、戦略の理念を共有し、行政、事業者、市民の皆様が一体となって、94の実施プロジェクトの着実な推進を図る。

議題

(1) 「歩くまち・京都」総合交通戦略に掲げる 94の実施プロジェクトの進捗状況

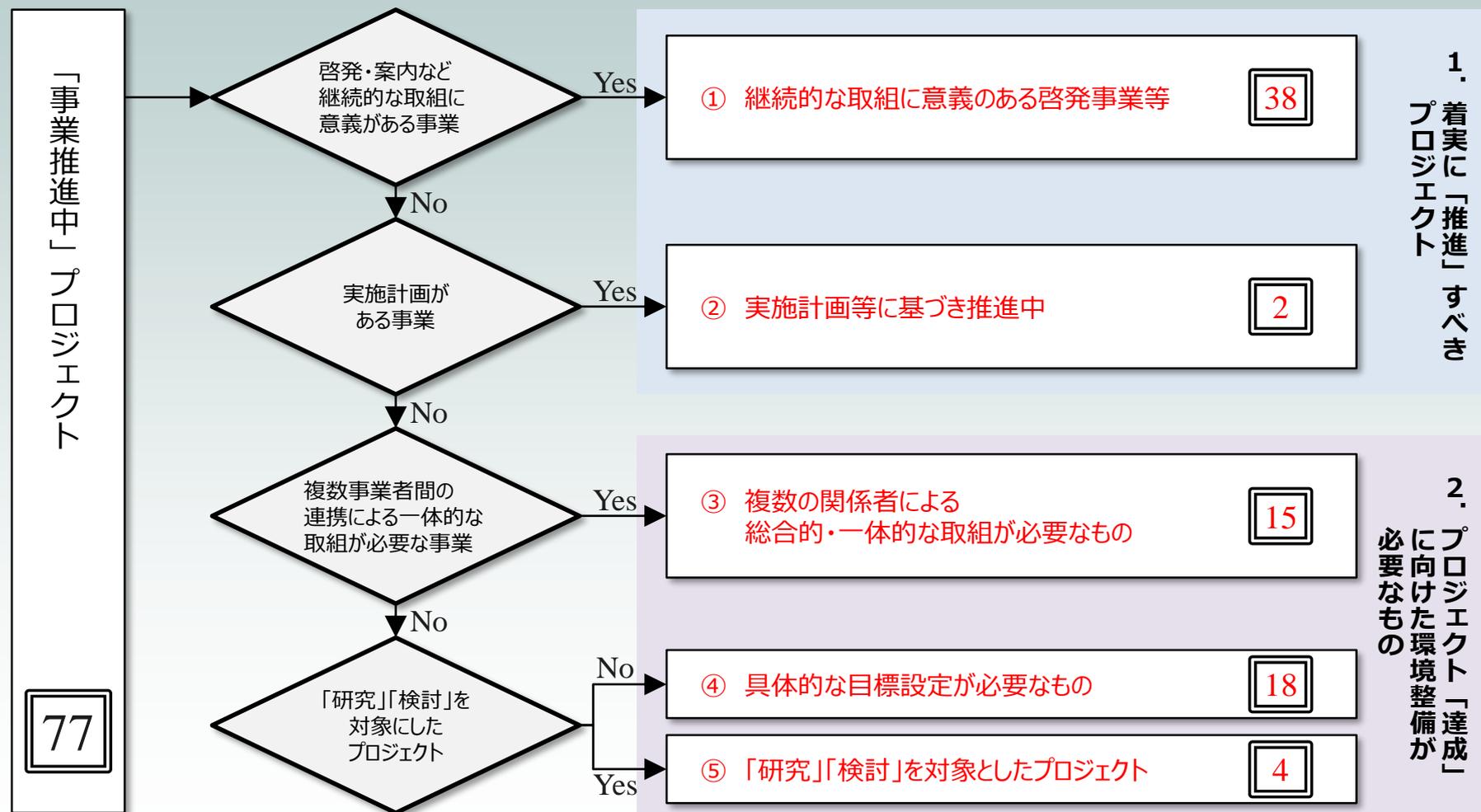
94の実施プロジェクトの進捗状況

分野	施策分類	企画構 想段階	事業推 進中	事業が ほぼ 達成	合計
分野1 「既存公共交通」の取組	(1)公共交通利便性向上施策	1	42	12	55
分野2 「まちづくり」の取組	(2)「歩くまち・京都」を支える 歩行空間の充実	0	2	1	3
	(3)未来の公共交通の充実	0	2	1	3
	(4)自動車交通の効率化と適正化	0	8	0	8
	(5)パーソナルモビリティの転換	0	2	1	3
分野3 「ライフスタイル」の取組	(6)「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発	0	1	0	1
	(7)交通行動スタイルの見直しを促す コミュニケーション施策(MM施策)	0	20	1	21
合計		1 1%	77 82%	16 17%	94 100%

詳しくは資料4をご覧ください

「事業推進中」プロジェクトの分類

□ 以下のフローに従って、事業推進中のプロジェクトを分類。



(注) □ 内に数値は、対応するプロジェクト数を示す。

議題

(2) 平成30年度の「歩くまち・京都」の 主な取組について

取組概要

<「まちづくり」の取組>

- ・交通混雑緩和を目的に、ビッグデータ等を活用した交通流動実態調査を実施
- ・四条通地下道の活性化に向け、地下道中央エリアの美装化及び文化的活用（写真展など）を実施

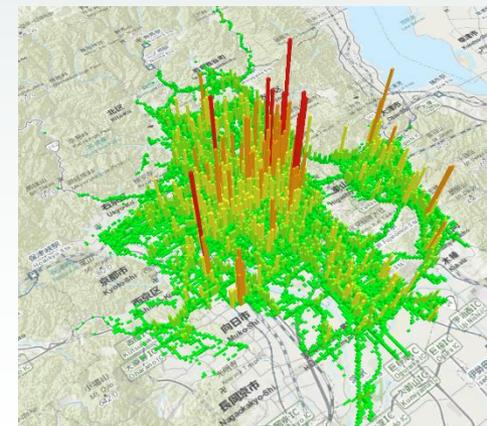
<「既存公共交通」の取組>

- ・歩くまち京都アプリ「バス・鉄道の達人」をリニューアル。中国語及びハングルに対応。「地下鉄・バス一日券利用範囲のみの検索」が可能に
- ・公共交通ネットワークの連携強化として、イオンモール桂川との連携事業や外国人来訪者に向けたICカード利用促進の取組を実施

<「ライフスタイル」の取組>

- ・地域と連携したMMを2箇所（北区，上京区）で実施
- ・「歩くまち・京都」学習実践校（3小学校）で学校MMを推進
- ・「御朱印巡り」を実施するなど、NPO法人「歩くまち・京都」フォーラムと連携したMMの取組を実施

- 鉄道・バス等の公共交通や限りある道路空間を効率的に活用し、交通混雑を緩和するため、交通流動の詳細なデータを把握する。
- 携帯電話(スマートフォン)利用者に係るGPSデータ(平成29年4月～平成30年3月)※を活用し、市内全域における交通流動実態(人の流れ)を把握する。※あらかじめ同意を得て取得し、個人が特定できないように加工したもの
 - ・ 属性(観光客等と市民等)、季節、時間帯等による移動特性を分析
 - ・ 人の流れが集中する地域や区間に着目し、移動経路の実態から、市内交通のボトルネック(混雑区間等)を明らかにする。
 - ・ 既存の統計や民間データとの比較等から、調査結果を検証する。
- 上記を踏まえ、交通利用の効率化等を通じた交通流動改善方策について、検討する。



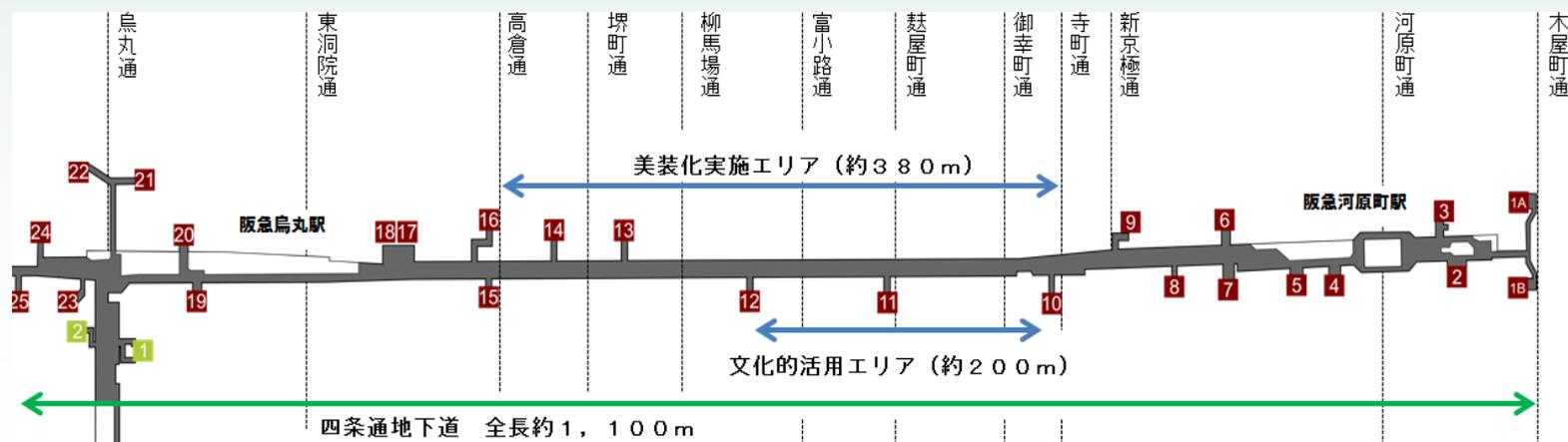
(調査結果イメージ)

四条通地下道の活性化

- 地元、商業施設、事業者等と連携し、これまで「単に通り抜けるだけの空間」となっていた四条通地下道を、「京都のまちにふさわしい文化的な活用」を基本に活性化し、新たな賑わいを創出

- 地下道中央エリアの美装化及び文化的活用を実施
 - ① 明治150年記念・みんなの写真展 ～四条地下道タイムトンネル～ 平成30年7月27日～9月9日
 - ② 四条繁栄会商店街振興組合設立50周年記念事業「未来の京都・四条 児童絵画展」 平成30年9月13日～9月24日
 - ③ 『天才アートがやってきた！～公共空間にアートの彩り！』 平成30年11月8日～平成31年1月27日

- 四条通地下道の更なる活性化に向け、持続的な活性化方策及び適正な管理のあり方等について、引き続き検討



プロジェクト

【未来の公共交通の充実】

未来の公共交通の充実について、どのような公共交通が将来の京都市に必要かを検討するための体制を整え、それぞれの地域特性を踏まえた新しい公共交通の実現に向けた検討を行います。

概要

背景

近年、自動運転に関する技術進歩は目覚ましく、実用化に向けた検討や実証が進められていることに加え、それらの技術の活用を見据えた新しい移動サービスの構築に向けた動きも加速している。

内容

自動運転の活用による市政課題の解決(次頁参照)や新たなまちの魅力を生み出す可能性について、テーマを絞って議論を進めるとともに、具体的な事業構想を持つ事業者等と連携しながら、検討や検証等を行う。

目標

社会実装に向けたプロジェクトを進めるとともに、平成31年度に京都における自動運転の活用のあり方に関する提言をとりまとめる¹²

自動運転が実用化された京都のまち（イメージ）



平成30年度の取組

第3回自動運転の社会実装に向けた検討会議の開催

これまでからの議論を踏まえつつ、市政課題の解決や新たなまちの魅力創出に向けた自動運転技術の活用について、検討を進めた。

【委員】

- ・ 塚口博司（立命館大学理工学部 特任教授）
- ・ 長上深雪（龍谷大学社会学部 教授）
- ・ 蓮花一己（帝塚山大学学長 心理学部教授）
- ・ 佐藤健哉（同志社大学モビリティ研究センター 教授）
- ・ 松島格也（京都大学大学院工学研究科 准教授）
- ・ 石倉理有（堀場製作所産学官連携推進室マネージャー）

自動運転の社会実装を推進するプロジェクト

1 大原地域におけるグリーンスローモビリティの体験乗車イベント

日時：平成30年9月23日（日・祝）24日（月・振替休日） 午前11時～午後4時

場所：大原地域

内容：大原地域において、電動小型低速車を走行させ、新たな移動サービスの実現イメージを体験いただいた。



【ヤマハ製電動小型低速車】

2 自動走行機能を有する物流車両を活用した新たなサービスの創出検討に向けた走行実験

日時：平成31年2月22日（金） 13:00～14:00（予定）

場所：西京極総合運動公園

内容：「移動サービスと物販、飲食、施設管理等の異なる分野のサービスとの融合」をテーマに自動走行機能を有する物流車両を活用した新たなサービスの創出検討の端緒とすることを目的として、関係事業者向けに走行実験を行う。

観光地交通対策の推進

プロジェクト

【観光地交通対策】

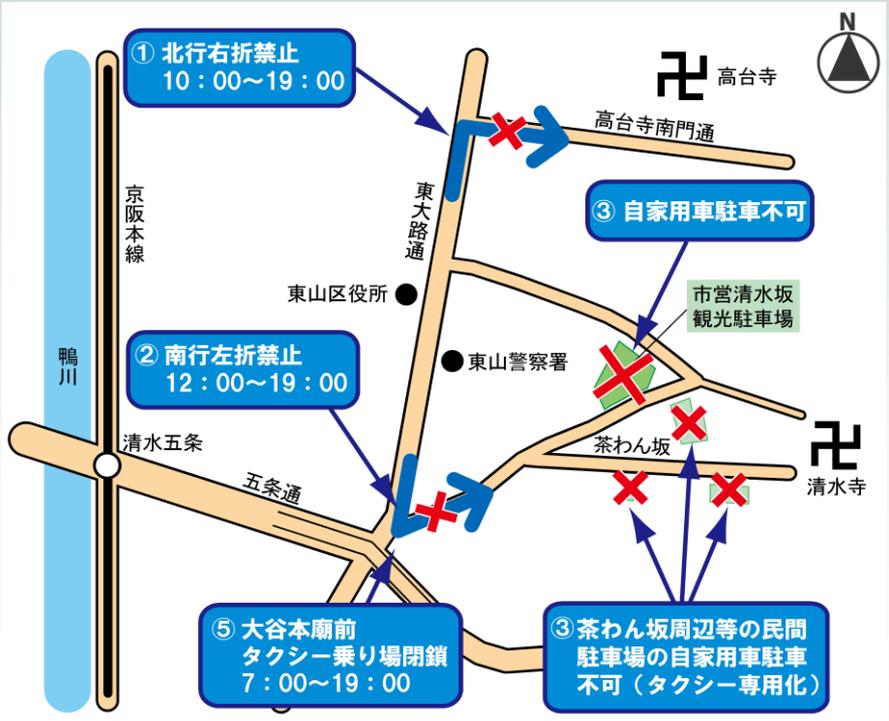
歩いて楽しい京都の魅力を最大限に引き出します。

平成30年度の実施(対策日5日間の主な実施内容)

<嵐山地区>



<東山地区>

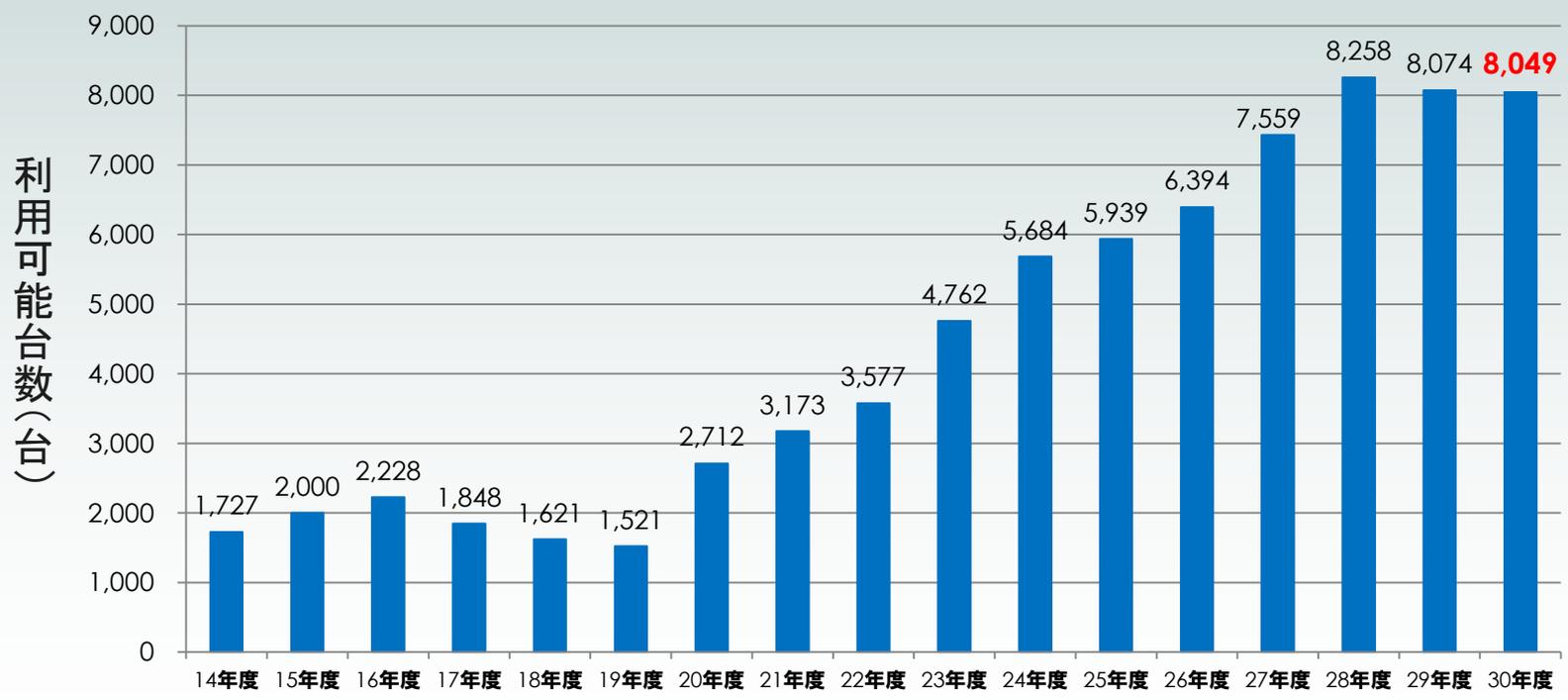


※ 嵐山地区においては、対策日5日間以外に長辻通での北行一方通行規制を試行実施した。

プロジェクト

No.50 京都市周辺地域でのパークアンドライドの通年実施
No.62 (パークアンドライドの)設置箇所の拡大や通年化 ほか

平成30年度までの実績



※秋の観光シーズンに期間限定で開設する駐車場を含む。

資料:京都市資料

プロジェクト

No.44 観光地間周遊に便利な、鉄道・バスでの効率的なルートのご案内情報の充実

No.48 既存の交通検索ソフトやウェブサイトにも、市内のバスダイヤの情報を提供

No.61 地域特性に応じた交通手段のあり方の検討する場を地域ごとに設置する仕組みづくり

概要

- **平成25年8月30日 運用開始, 平成30年7月13日リニューアル**
京都市域を運行するバス・鉄道を対象に、出発地と目的地を入力するだけで、最適な移動経路や運賃、所要時間を検索できる無料の経路検索システム
- **特徴**
 - ・ 16のバス・鉄道の乗換検索が可能
(寺院・神社, 施設名等(約2,400施設)からも検索可能)
 - ・ 市バス, 京阪バス, 京阪京都交通バス(一部路線)について、全国初となる、その日の道路状況を加味した到着予測時刻を表示
 - ・ 「市バスのみの検索」「市バス・京都バス1日乗車券カード利用範囲内のみの検索」「地下鉄・バス一日券利用範囲のみの検索(※)」が可能
 - ・ 経路検索について、英語, 中国語(繁体字, 簡体字)(※), ハングル(※)に対応
 - ※ 30年7月のリニューアルにより追加された機能

30年度利用実績

- アプリのランキング(平成31年2月1日現在)
 - AppStore(ナビゲーション) 132位
 - Google Play(旅行・地域) 156位
- 利用状況(平成31年1月末現在)
 - ・ スマートフォンアプリダウンロード数 約52万件
 - うち英語版アプリダウンロード数 約11万件
 - ・ WEB HP閲覧数 約4,800万ページビュー



スマートフォン用のアイコン



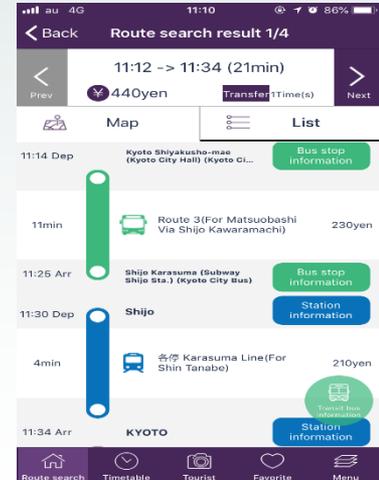
トップ画面



検索結果(ルート)画面



検索結果画面



検索結果画面(英語)

公共交通ネットワークの連携強化

プロジェクト

No.34 観光客の多様なニーズに対応した、交通事業者共通の企画切符の導入及び広報

No.35 共通運賃や乗継制度, ICカードの普及拡大, ICカードによる定期・乗継割引サービス
導入など ほか

平成30年度の取組

□ 公共交通利便性向上検討WG

- ・イオンモール桂川との連携事業 **NEW**
- ・利用促進イベントの実施(らくさいさくら祭)

- ・阪急洛西口駅前バスのりばの案内充実 **NEW**
- ・ダイヤ改正に伴う共通案内板の更新

□ ICカード普及啓発WG(幹事:交通局)

- ・チラシの作成・配布による外国人来訪者に向けたICカード利用促進の実施 **NEW**
- ・各事業者の広告媒体を活用したICカード普及啓発PRの実施

□ 外国語案内充実WG(幹事:交通局, 京都バス)

- ・外国人利用者に向けた公共交通案内情報の共通化をめざした取組の継続(更なる充実の検討)
- ・国庫補助を活用し, 外国人利用者に向けた「京都の電車・バス」のご利用案内の充実 **NEW**

□ 歩くまち・京都レールきっぷWG(幹事:京阪電鉄)

- ・鉄道事業者5社局と連携した京都市内の鉄道が乗り放題となる企画きっぷを販売

歩くまち・京都レールきっぷ(夏版) : 有効期間 平成30年 7月1日～平成30年9月30日

歩くまち・京都レールきっぷ(冬版) : 有効期間 平成30年12月1日～平成31年3月31日

プロジェクト

No.32 駅及び駅周辺の乗継施設の整備・改善(例:JR嵯峨野線 京都・丹波口間新駅, 京都駅八条口駅前広場整備, 阪急電鉄及び京福電気鉄道の西院駅の再整備など)

No.37 旅客施設及び周辺の道路等のバリアフリー化を重点的・一体的に推進

平成30年度の取組

- 西院駅(阪急)の西改札口内のバリアフリー化整備や西大路駅, 桃山駅(以上, JR西日本)のバリアフリー化整備のための詳細設計や準備工事を実施
- 第12回「国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」を受賞



工事中の西院駅西改札口



表彰状授与式の様子(1月25日) 20

プロジェクト

No.55 地域住民の皆様が生活交通の維持に対する意識を高めて頂くような仕組みづくり

概要

バス利用環境の整備に対する支援

市内全域におけるバスの利便性を向上させるため、バス利用環境を整備する民間バス事業者を支援

【補助対象事業】

- 1 バス停留所上屋
 - 2 バス停留所ベンチ
 - 3 電照式バス停留所標柱
 - 4 バス停留所標識柱の照明機器
 - 5 バスロケーションシステムのモニター
 - 6 車内用液晶表示器の整備
 - 7 その他市長が必要と認める設備の整備
- ※ 整備の対象となる設備の構造、規模、性能等について、市バスにおける同様の事例と水準をあわせる。

【補助額】

補助対象経費の5分の4

バス路線充実等の社会実験に対する支援

主に京都市民の日常生活に必要なバス路線を充実させるため、民間バス事業者が本格運行を視野に入れて実施する社会実験を支援

【社会実験の要件】

社会実験の対象となる地域において、「日常生活に必要なものとして充実すべきバス路線である」という合意が形成されていること

【補助対象経費】

- 1 バス利用促進のモビリティ・マネジメントに係る経費〔全額〕
- 2 バス運行計画の作成に係る経費〔補助率5分の4〕
- 3 バス停留所標柱等の地上案内設備やバス車上案内設備の設置・更新等に係る経費〔補助率5分の4〕
- 4 バス車両の調達経費〔全額補助〕

平成30年度の取組

バス利用環境の整備に対する支援

民間バス事業者4社局から補助申請が出されており、下記のとおり整備中である。

		整備項目			
		上屋	ベンチ	停留所 標識柱	標識柱の照明機 器
設置行政区	北区	1箇所	1箇所		
	左京区	6箇所	10箇所	6箇所	
	東山区		1箇所		
	山科区	2箇所	1箇所		
	右京区		2箇所		
	西京区			1箇所	2箇所
	南区				6箇所
	伏見区		2箇所		
合 計		9箇所	17箇所	7箇所	8箇所

※ 上記の表に加えて、車内用液晶表示器69台も整備中である。

バス路線充実等の社会実験に対する支援

平成29年10月1日から、京阪バス「鏡山循環」及び「くるり山科」の増便に係る社会実験を開始しており、平成30年度も、本格運行につながるよう、引き続き、地域住民やバス事業者の利用促進の取組等(モビリティ・マネジメント)を支援している。

プロジェクト

No.54 中山間地域における現行のバス路線については、地域の实情(需要)も勘案しつつ、地域の活性化や福祉の視点も踏まえ、持続的な運行維持方策について、地域住民や交通事業者、行政機関等が参画した検討の場を設置

No.55 地域住民の皆様が生活交通の維持に対する意識を高めて頂くような仕組みづくり

No.61 地域特性に応じた交通手段のあり方の検討する場を地域ごとに設置する仕組みづくり

概要

◇右京区京北地域

少子高齢化が急速に進行（小中学生が10年前の3分の2に！バスの利用者は10年前の6割に！）しており、地域のバスを守るための取組を実施している。

◇右京区水尾地域

地域が主体となり、自治会バスを運行している。



◇左京区久多地域

地域最寄りバス停と京都市街地を結ぶバスが減便したため、地域が主体となったバスを運行している。

◇北区雲ヶ畑地域

地域と市街地を結ぶ唯一のバスが撤退したため地域が主体となって、運送事業者に委託し、バスを運行している。

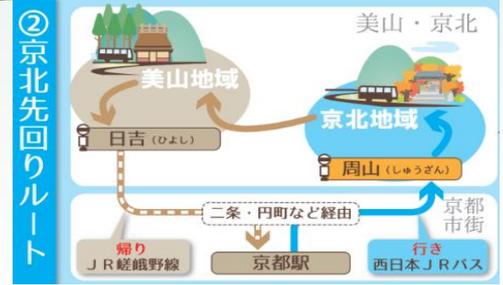
乗合バスについて～各地域の取組②

30年度の取組

- 北区雲ヶ畑地域(雲ヶ畑バス「もくもく号」の運行継続)
雲ヶ畑地域⇔地下鉄北大路駅(1日2便) 運賃:片道500円
- 左京区久多地域(「やまびこ号」の運行継続)
月2回の定期便(4～12月), 臨時便運行
運賃:片道500円(定期便)
- 右京区水尾地域(「水尾自治会バス」の運行継続)
運行区間:水尾地域⇔JR保津峡駅(1日5便)
運賃:片道250円
- 右京区京北地域(「京北ふるさとバス」の運行継続)
- ◇ 西日本JRバス高雄・京北線の往復企画切符及び
京北一日フリー乗車券を販売(29年4月～)



雲ヶ畑バス「もくもく号」



美山・京北バス旅ルート

◇「美山・京北バス旅ルート」を設定(29年10月～)
・美山地域と京北地域を, 京北ふるさとバスと
南丹市営バスを利用して周遊するルートを設定。
30年度は毎日運行とし, HP等の周知を強化した。

交通局の取組

平成31年3月 市バス新ダイヤ



1 利便性の向上

- ① 堀川通の混雑対策（二条城・金閣寺Expressが「四条堀川」及び「堀川今出川」にも停車）
- ② 夜間時間帯の運行充実（千本通方面，北大路駅→西大路通・河原町通方面）
- ③ 停留所の新設（計3箇所(右京区／西京区)）

2 わかりやすさの向上

- ① 停留所名称の変更（新駅開業，大学名の変更に合わせて変更等）
- ② 系統番号の変更（快速202号・205号の往路→快速立命館，二条城・金閣寺Express→111号）

3 前乗り後降り方式の導入（100号，東山シャトル）

4 JR「梅小路京都西駅」の開業に伴う輸送力調整（103号の廃止）

車両数	走行キロ（平日ダイヤ）	系統数	実施予定日
818両 （増減なし）	87,300km／日 （増減なし）	84系統 （増減なし）	平成31年3月16日 （土曜日）

プロジェクト

- No. 42 シンポジウムの開催や公共交通利用促進キャンペーンの実施
- No. 73 シンポジウムの開催や各区のふれあい事業等での周知など各局区との連携
啓発グッズや周知ビラなどを作成し、家庭、学校、職場における継続的な普及・啓発
- No. 81 京都の伝統的な祭りや行事、イベントと連携し、一定期間クルマを使わない
地区を創出

平成30年度の取組

□ 憲章の普及啓発を行ったイベント等

4月	「鳥羽の藤」鳥羽水環境 保全センター一般公開	11月	京北ふるさとまつり
9月	伏見ふれあいプラザ		多世代交流・学習型イ ベ ント (エコまちフェスタ)
	京都カーフリーデー2018		
10月	京都学生祭典	下京ふれ愛ひろば	
	右京区民ふれあいフェス ティバル		



平成30年10月27日
右京区民ふれあい
フェスティバル

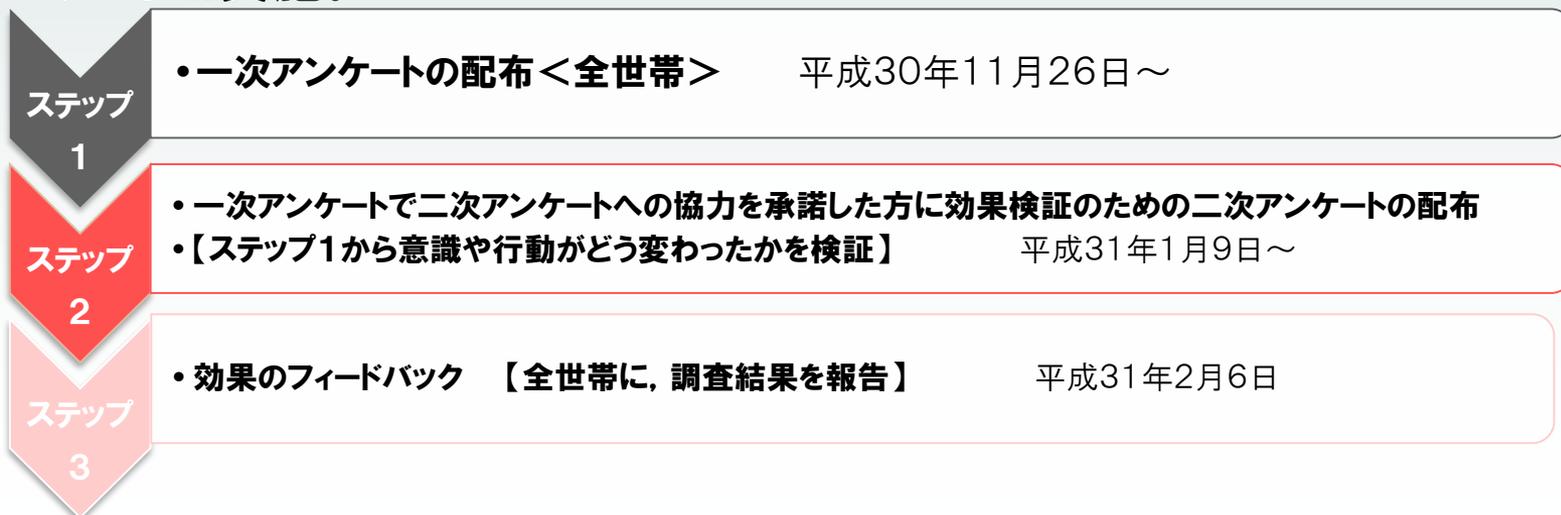
プロジェクト

No. 74 「全域版公共交通情報マップ」の作成, 配布
 「地域版公共交通情報マップ」の作成, 配布

No. 75 国内初となる全世帯を対象とした広域的かつ個別的なTFP
 (トラベルフィードバックプログラム) を実施

平成30年度の取組

- 山科区西野エリアを中心とした国道1号周辺地域を対象に, 地域別の公共交通マップ・時刻表の配布や交通行動の変革を促すコミュニケーション・アンケートを実施。



コミュニケーション・アンケートの実施

□ 実施数値

	山科区西野エリアを中心とした国道1号周辺地域
一次アンケートの配布数	7,597
一次アンケートの回収数	1,102
一次アンケートの回収率	14.5%
二次アンケートの配布数	400
二次アンケートの回収数	294
二次アンケートの回収率	73.5%

□ 今回の取組に対するご感想

- ・色々見直すいい機会となりました。家族と今後も話をして車使用を減らしていけるよう頑張ります。
- ・バスを利用して市内に行くと今まで気付かなかったお店や季節の変化が気分転換になりとても良いと思いました。スローライフ京都の取組は特に年配者には健康維持の為にも良いと思います。
- ・公共交通を使う方が便利なことも多く、時間の節約になることもある。なるべく歩く時間を増やすようになったので、良いきっかけを頂きありがとうございます。主人はバイクを手放しました。

プロジェクト

No. 43 地域別の公共交通マップの作成及びモビリティ・マネジメントの実施

平成30年度の取組

クルマから公共交通機関等への交通手段の見直しに意欲が高い地域が取り組まれる事業に対して、必要な支援を実施。

【北区柘野学区】

「柘野地域における公共交通利用促進会議」においてワークショップを開催。ニュースレターの配布やお試し乗車券の配布など、利用促進を実施。バス路線沿線の他地域への利用の呼びかけ。

【上京区仁和学区】

市バスの利用状況について、学区住民にアンケート調査を実施。ポケット時刻表の製作・配布。地域で開催する祭りの会場に、公共交通のPRブースを設置。

プロジェクト

- No. 82 授業で活用する環境副読本や子ども版の環境家計簿等に交通行動を考える情報を掲載
- No. 83 市内の小学校、中学校を対象に、学校教育活動全体を通じて学習した交通利用に関する学習成果を発表するパネル掲示や学習発表会などの機会を提供

平成30年度の取組

- モビリティ・マネジメント教育の持続的・発展的展開を目指し、学校教員を交えた「歩くまち・京都」学習検討会を開催(3回)
- 学校MMの継続的な実施に向けて、「歩くまち・京都」学習実践校を募集。30年度は3校を選定し、各実践校において公共交通の利用促進の取組を実施
- また、平成31年2月24日(日)には、「歩くまち・京都」学習実践発表会を開催し、各実践校の取組を発表する機会を設ける。

□ 「歩くまち・京都」学習実践校

- 京都市立正親小学校
『探ろう 安全して歩ける・住めるまち正親 魅力あふれる街京都』
- 京都市立岩倉北小学校
『「わたしたちの京都市のまちづくりを主体的に調べ考える子ども」
～京都市の地理, 歴史, 政治, 伝統文化, 人々のくらしの教材化
の工夫～』
- 京都市立朱雀第一小学校
『障害のあるなしに関わらず, すべての人が心地よく暮らせるこれからのまちづくりと公共交通のあり方』

プロジェクト

- No. 49 京都市全体の公共交通インターネットサイトを構築
(各事業者の提供するホームページへリンク)
- No. 78 ウェブサイトを活用した公共交通の基本情報や動機付け情報等を提供
ウェブサイトを活用したTFPを実施, 各交通事業者のウェブサイトや
ポータルサイト運営事業者の地図サイトと連携
- No. 93 京都の公共交通に関する情報を望む観光客を対象とし, ウェブサイトを
活用して, 公共交通の情報, 動機付け情報等の提供やTFPを実施

平成30年度の取組

- 法人会員の4カ寺(東福寺, 清水寺, 高台寺, 圓徳院)において御朱印巡りを実施(1月8日~2月3日)。3カ寺以上巡った方には, 百貨店や本市施設の入場券などの景品を進呈。 **NEW**
- 大学のゼミにおいて, 転入生向けの公共交通利用促進リーフレットを製作・配布。

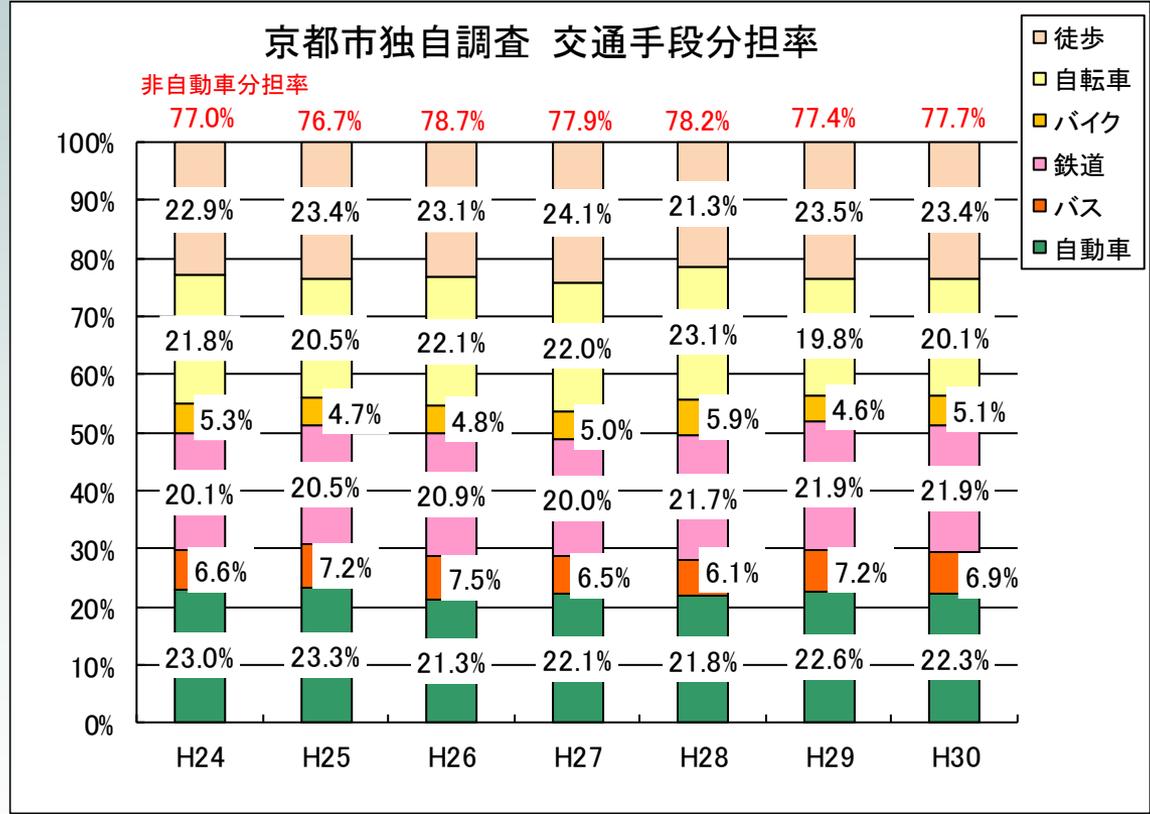
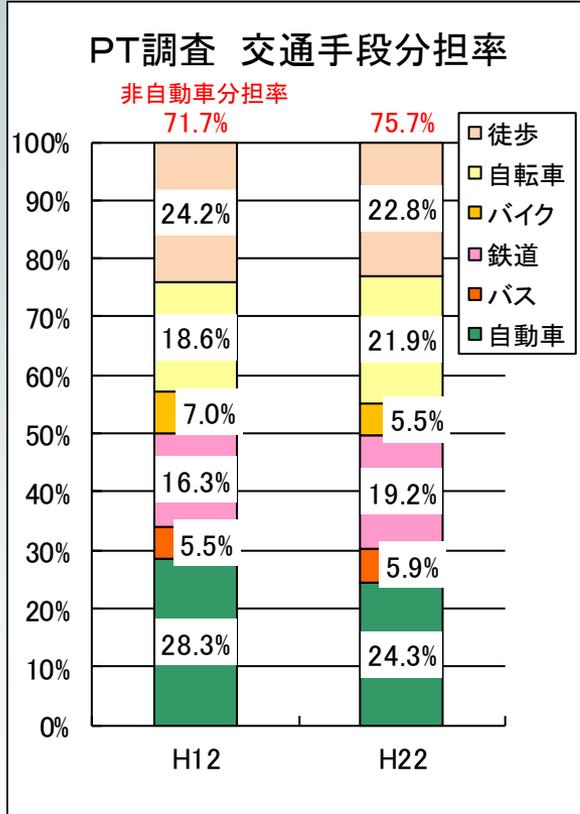


議題

(3) 「歩くまち・京都」総合交通戦略の 効果検証

戦略の数値目標：非自動車分担率

- 非自動車分担率は、目標達成に向けて高水準を維持している。
 (京都市独自調査結果：平成30年度 約78%)

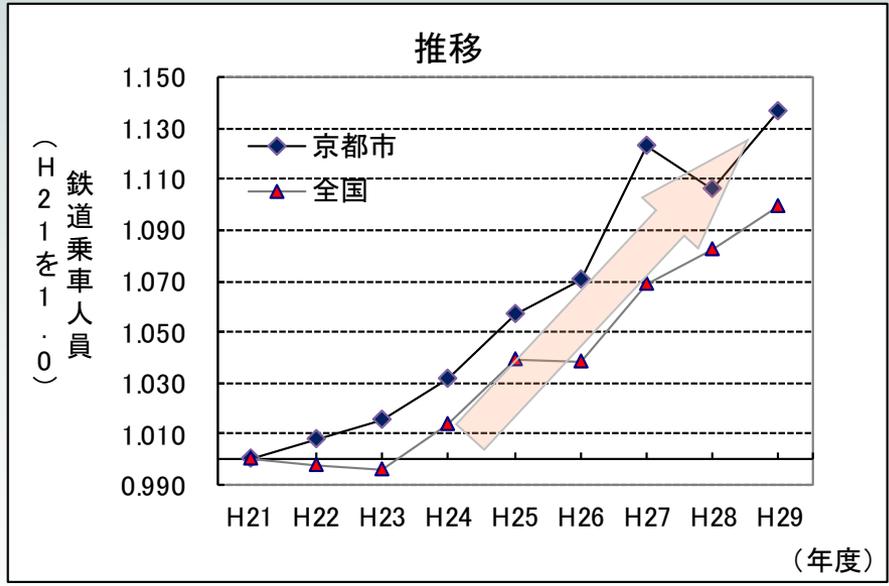
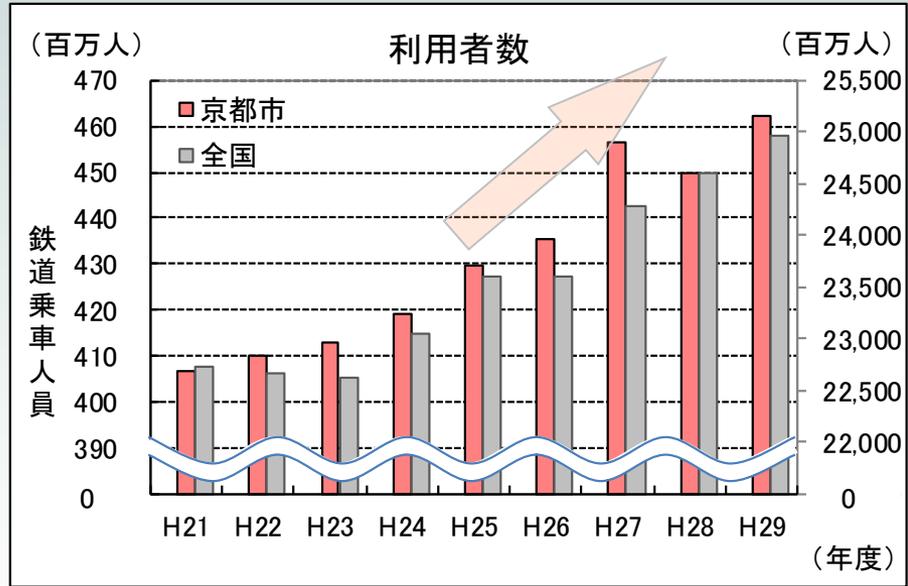


PT調査(京阪神都市圏パーソントリップ調査)は交通計画、防災計画等の基礎資料とすることを目的に、10年毎に実施。H22の対象者数は約70万人(非外出者を含む)

京都市独自調査は、数値目標である京都市の交通手段分担率をモニタリングすることを目的に、京都市民を対象にH24から毎年実施。京都市民以外の京都市の交通はPT調査と同じとしている。対象者数は約1千人(外出者のみ)
 ※「その他」をグラフから除外していること及び四捨五入により合計が100%にならない場合がある。

鉄道利用者数

- 鉄道利用者数は、増加傾向にある。
- 平成21年度比で見た増加率においても、全国と比較して高めの水準で推移している。

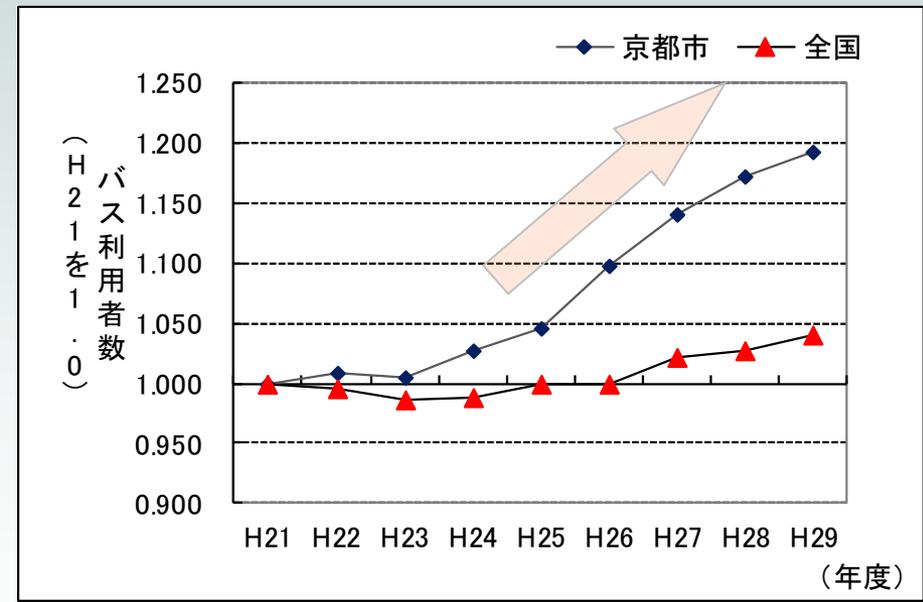
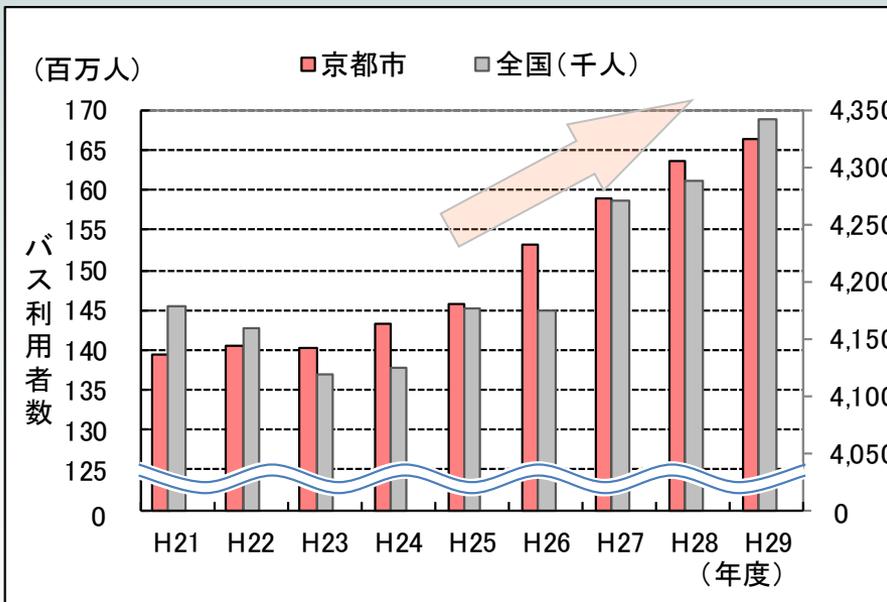


※ 平成28年度は、一部事業者の算定方法に変更があった。

京都市調べ
 <全国> 出典: 鉄道輸送統計年報

バス利用者数

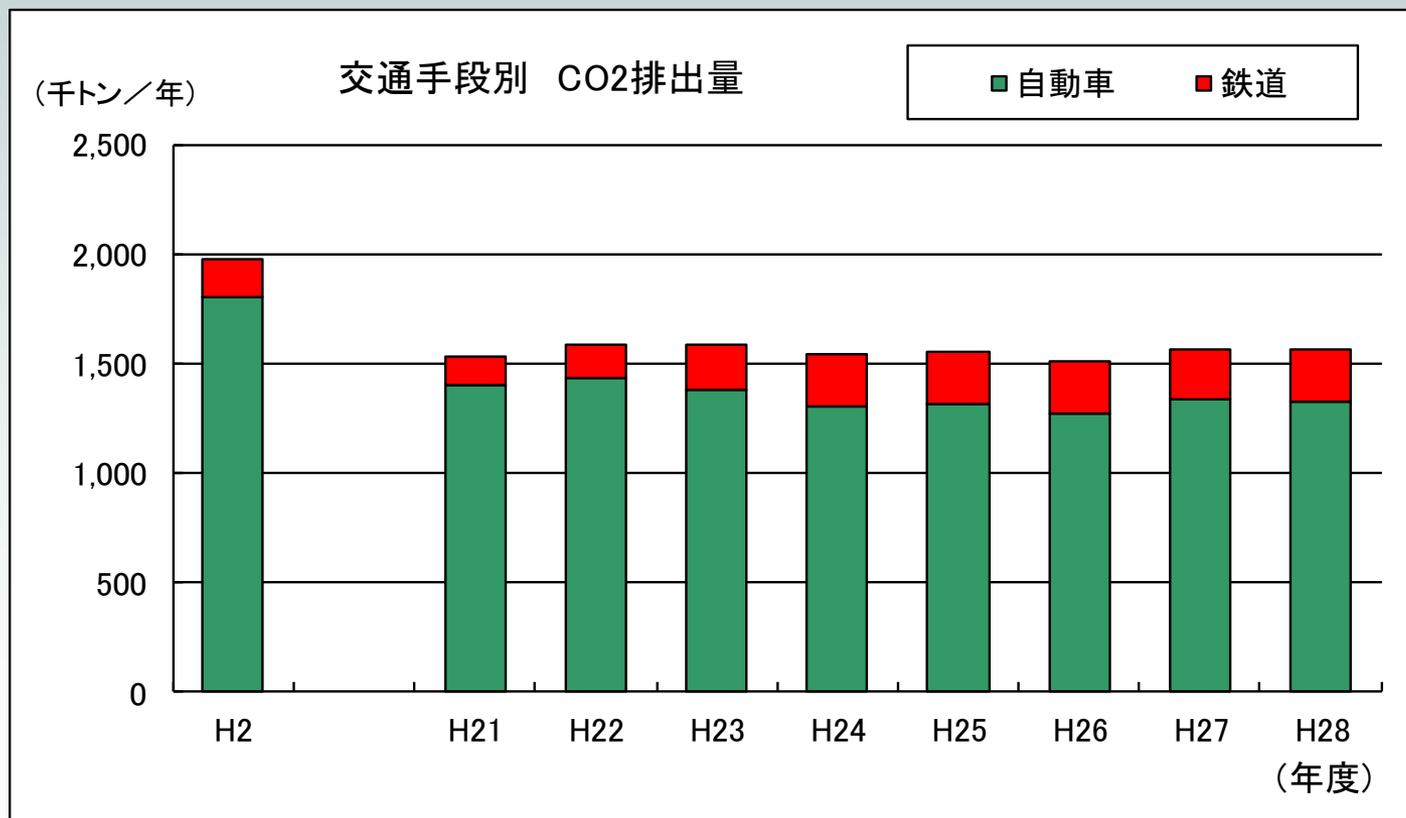
- バス利用者数は増加傾向。
- 平成21年度比で見た場合、全国平均はほぼ横ばいだが、京都市は約2割増加。



京都市調べ
<全国>出典:国土交通省資料

CO2排出量

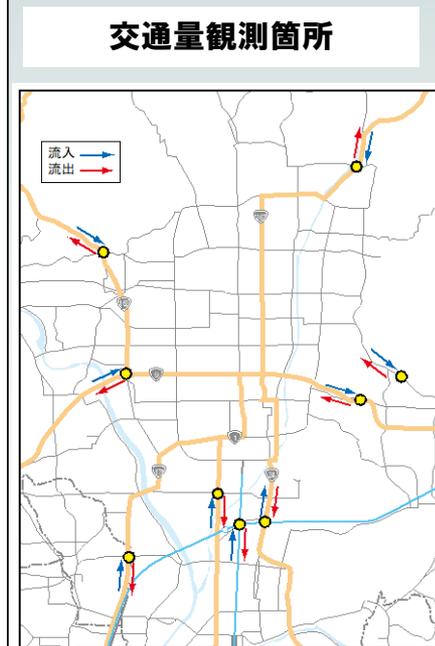
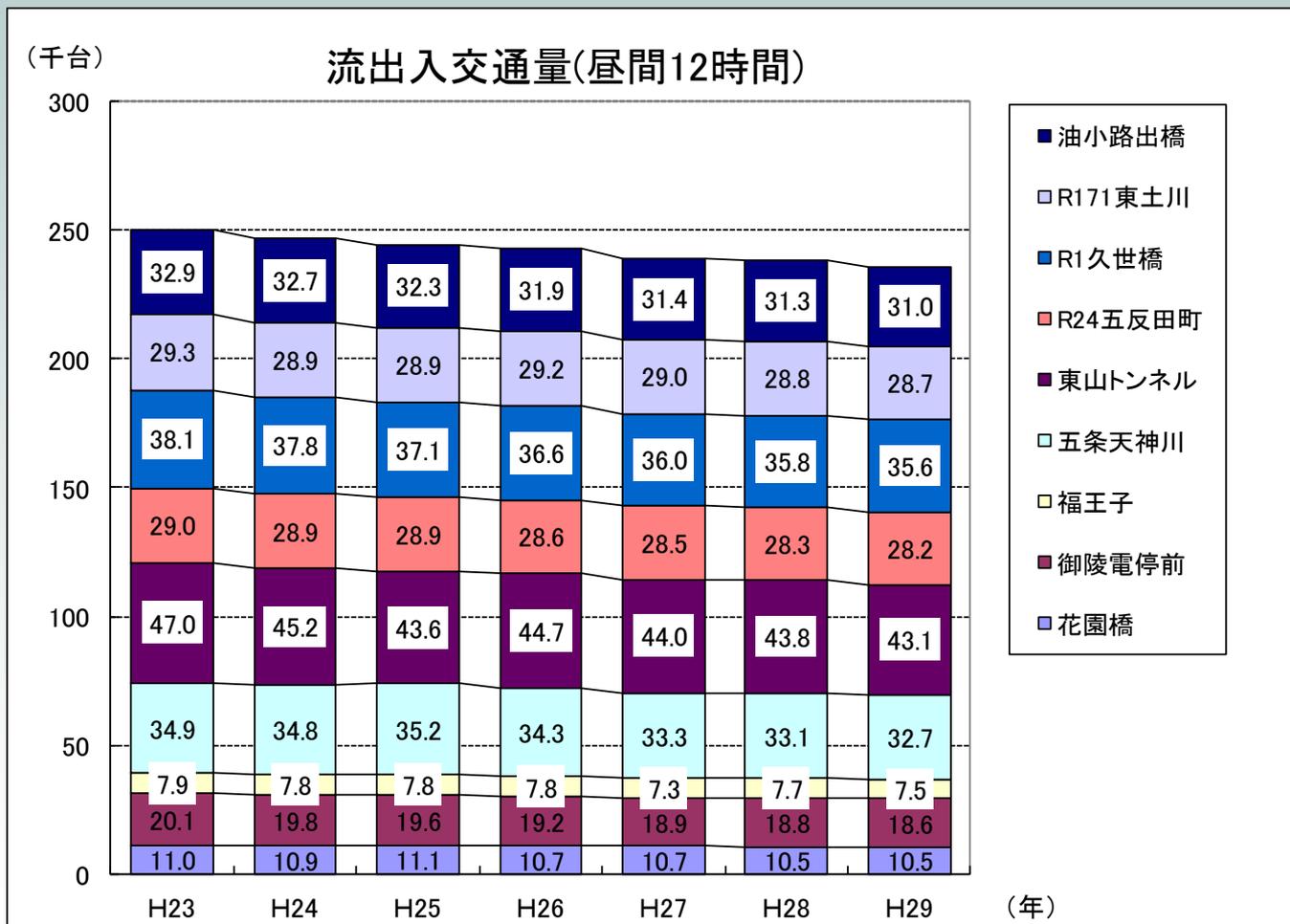
- エコカーの普及, 燃費性能の向上, DO YOU KYOTO? プロジェクトの周知等により, 運輸部門のCO2排出量は, 平成2年度から約2割減少している。



交通手段別CO2排出量

流出入交通量

□ 市街地への流出入交通量は減少傾向で推移している。

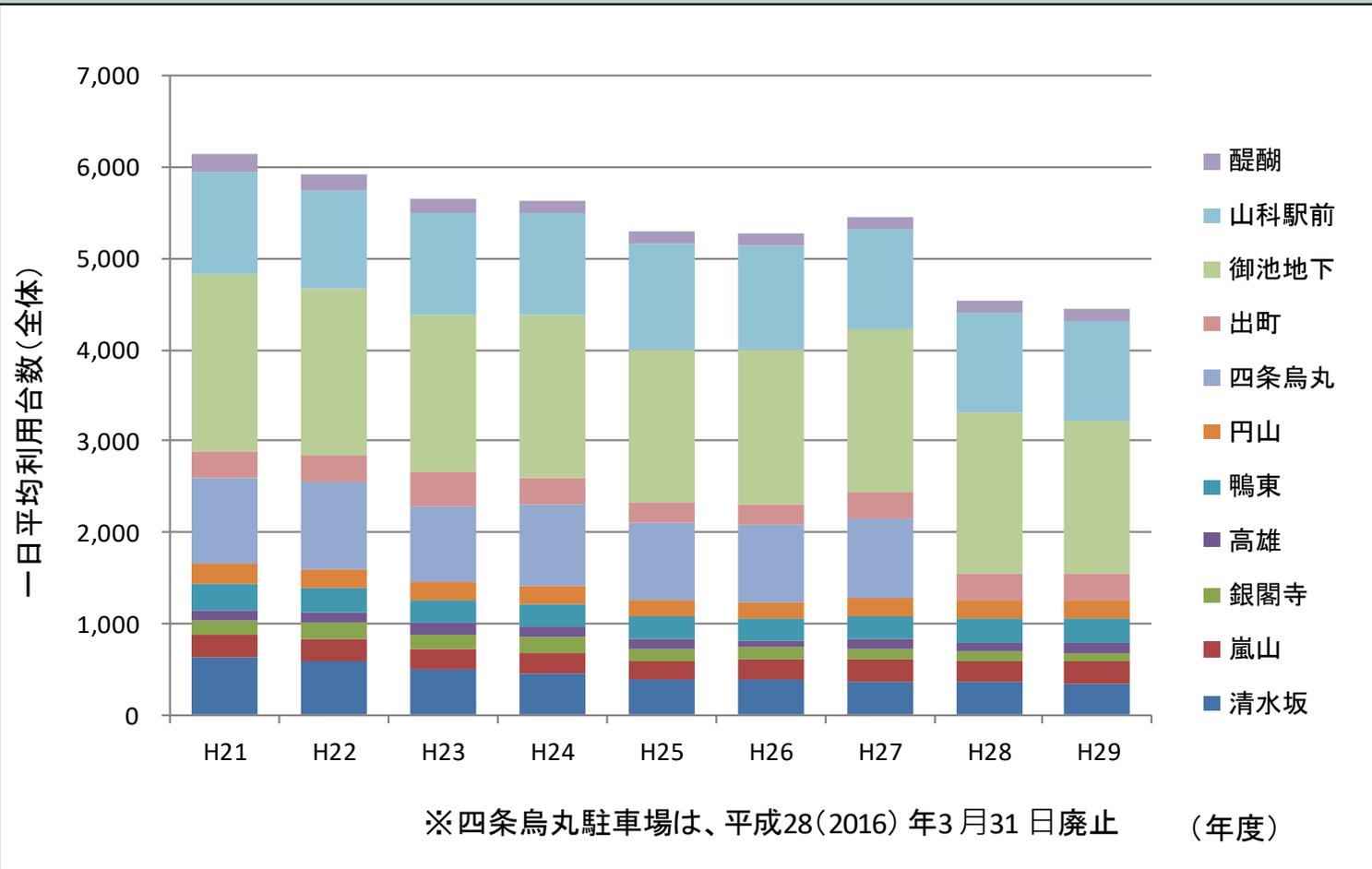


資料:京都府警資料

市営駐車場利用状況

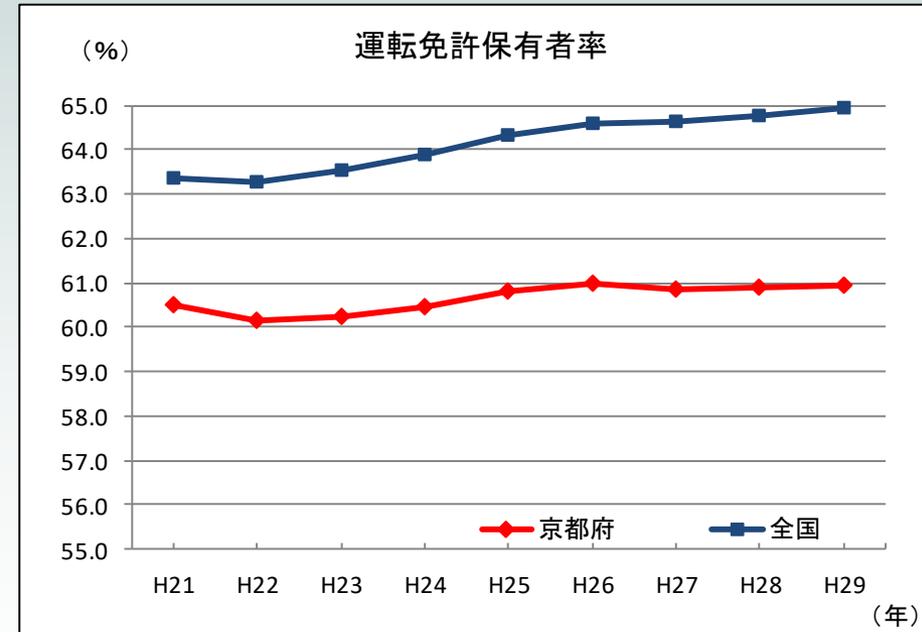
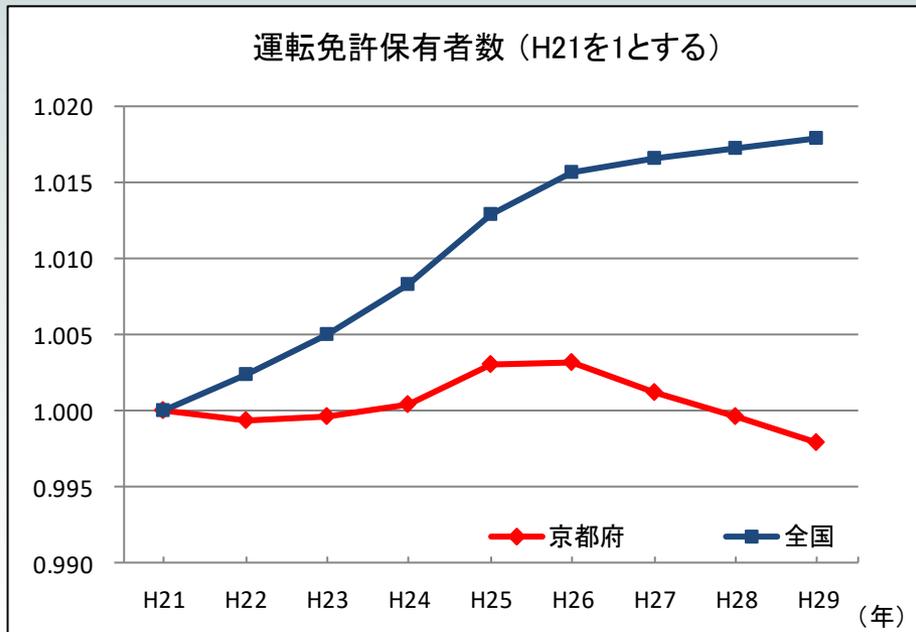
□ 市営駐車場の平均利用台数は、減少傾向にあり、平成21年度から約3割減となっている。

※定期利用台数を含む



免許保有率

- 「免許保有者数」は、全国的には増加傾向にあるが、京都府では平成27年以降、減少している。
- 「免許保有率」についても、京都府は、全国平均より低い水準で推移している。

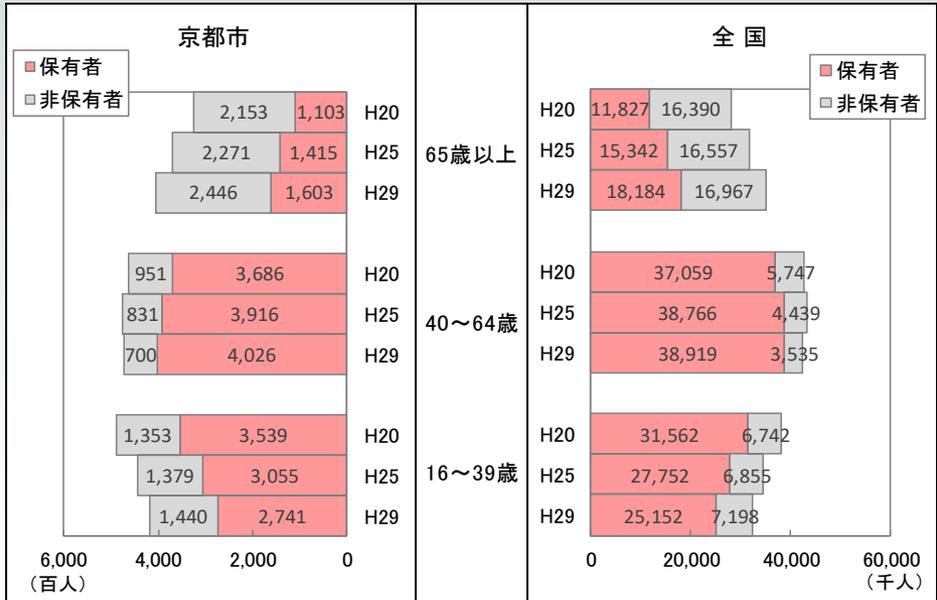


資料: 警察庁「運転免許統計」、総務省統計局「人口推計」

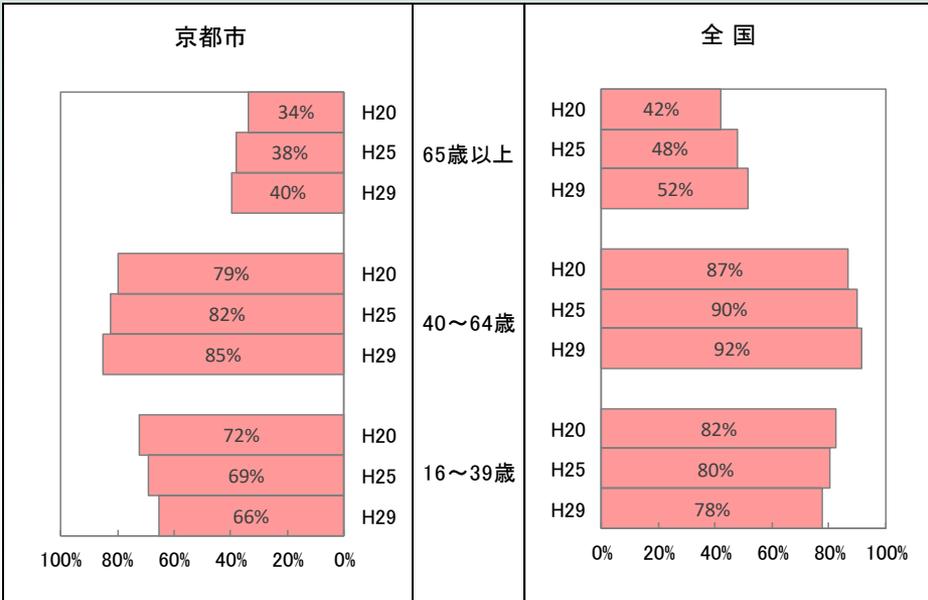
免許保有率

「免許保有率」を年齢別にみると、京都市も全国も、39歳以下は減少し、40歳以上は増加している。

【年齢別の免許保有者数】



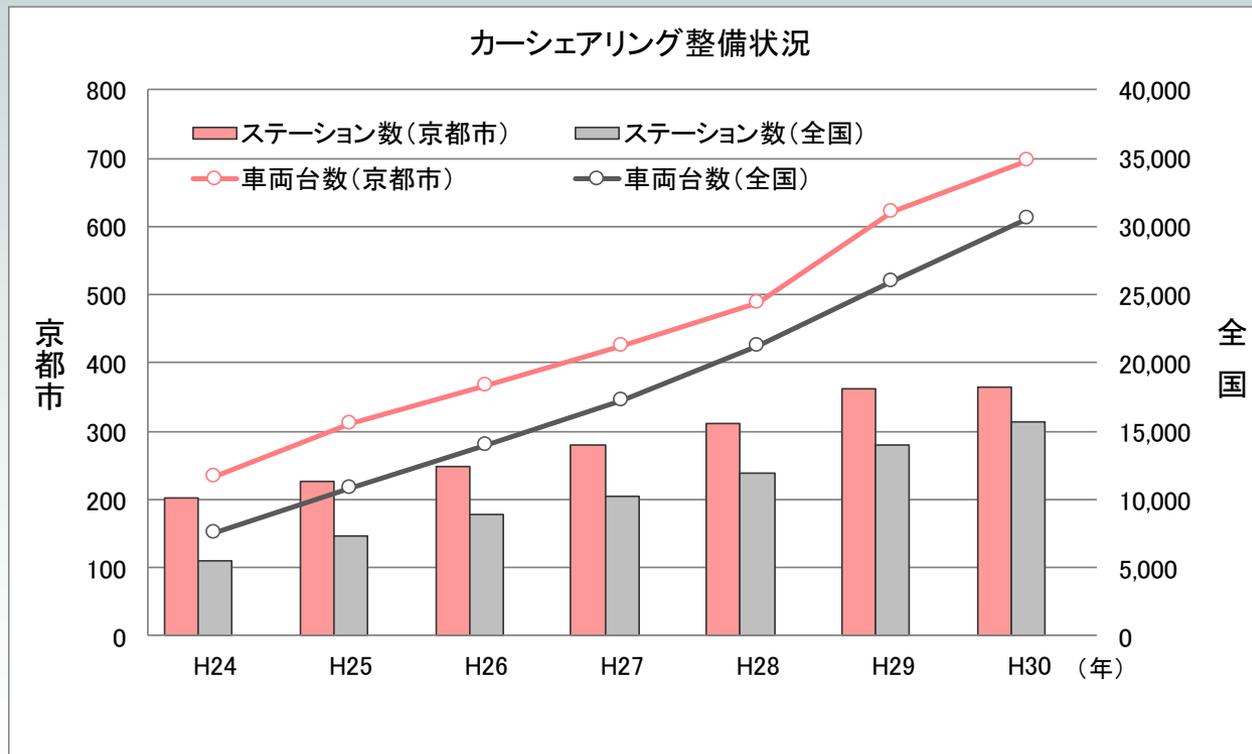
【年齢別の免許保有率】



免許保有者数資料: 京都府警
人口資料: 総務省統計局、京都市統計書

カーシェアリング整備状況の推移

- カーシェアリングの「ステーション数」「車両台数」は、ともに増加傾向で推移しており、「ステーション数」は1.8倍、「車両台数」は3倍となっている。



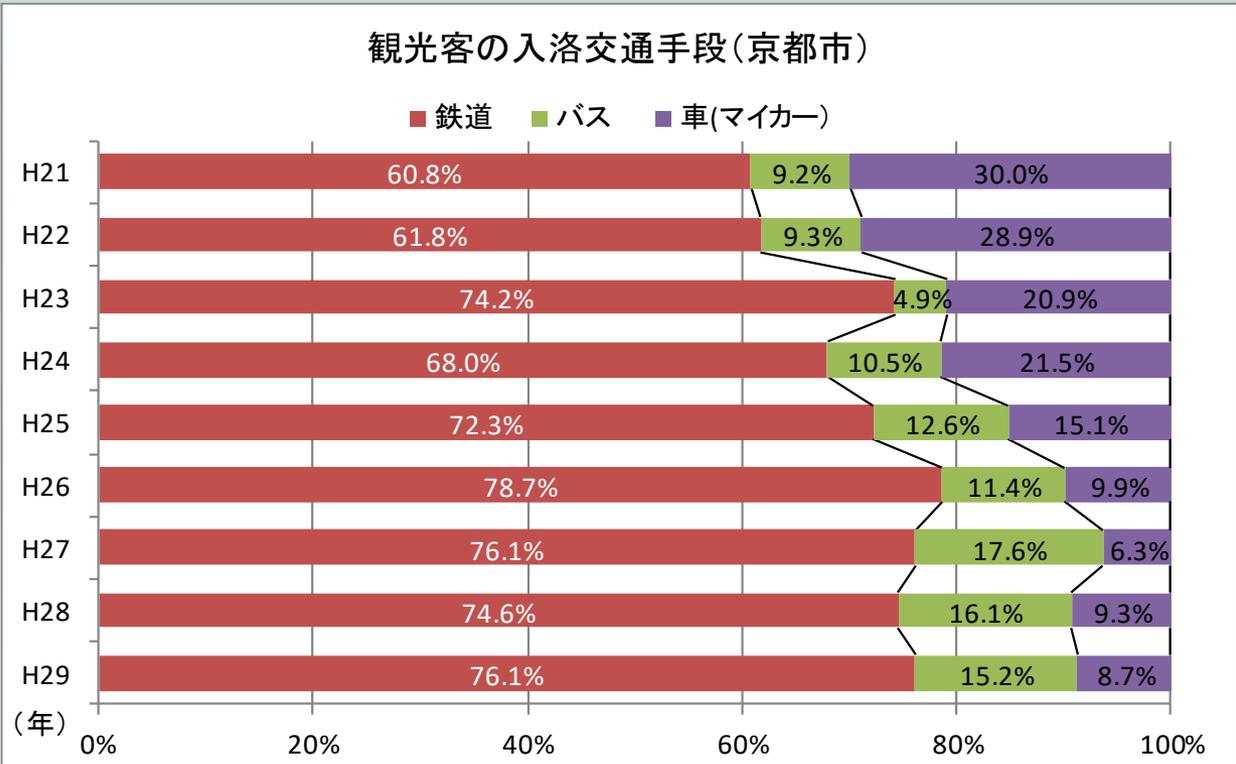
資料:カーシェア・マップ株式会社「カーシェアリング・ステーション統計情報」

※この統計に含まれるカーシェアリング・サービスは以下の8社で集計

タイムズカープラス、カレコ・カーシェアリングクラブ、オリックスカーシェア、カリテコ、アース・カー、D-Share、エコロカ、Joyca

観光客の入洛交通手段分担

- 車(マイカー)の比率は、平成21年の30%から20ポイント以上減少している。
- 一方、公共交通機関(電車・バス)の比率は、増加傾向にあり、平成26年以降、9割を超えている。

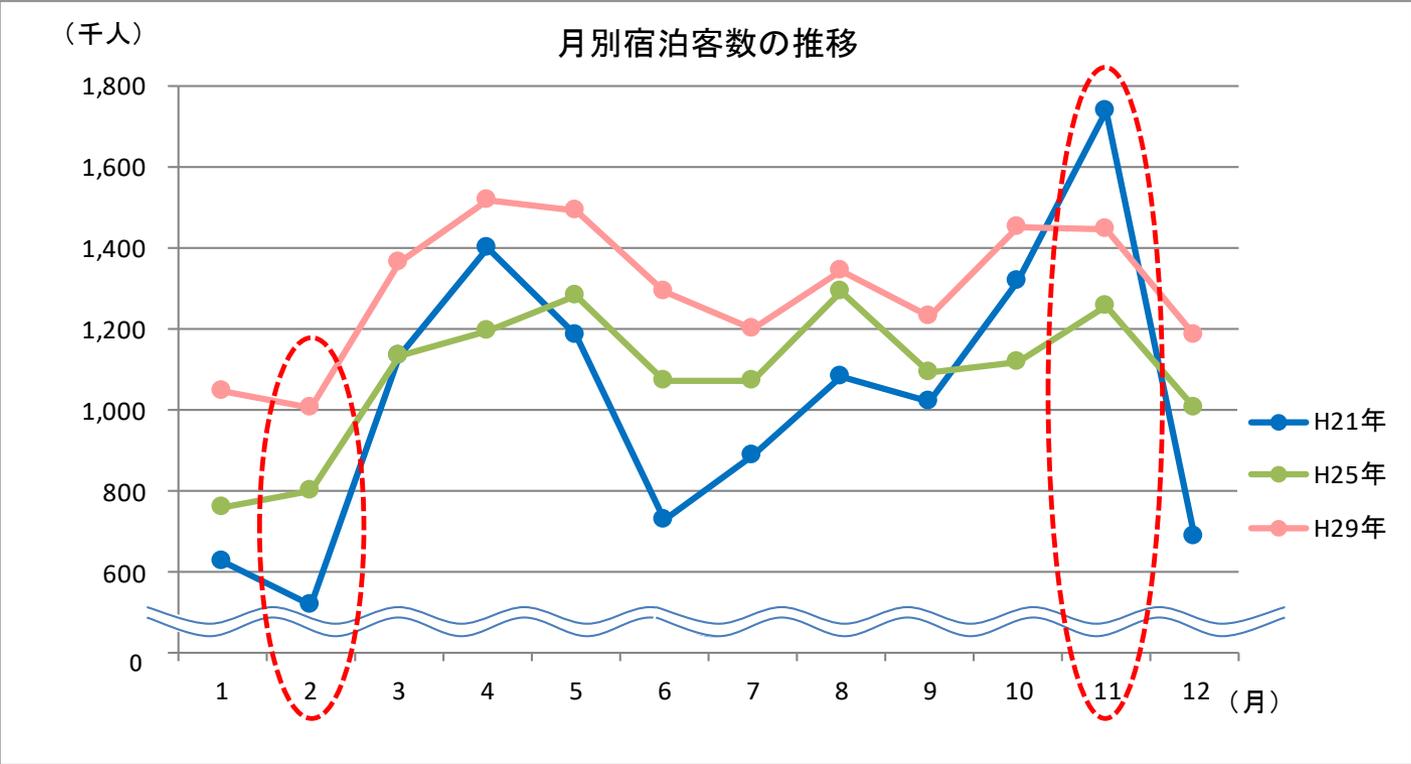


資料:京都市観光調査年報(H21,H22)、京都観光総合調査(H23~)

京都市内の主要な鉄道駅、観光駐車場等、全13箇所において、調査時期(年4回)、曜日、時間を概ね合わせたうえで無作為に調査対象者を抽出し、郵送回答の方法で調査を実施

入洛宿泊客数

- インバウンドの増加等により平成21年の1,231万人から平成29年には1,557万人まで26%増加している。
- いわゆる観光シーズン(春・秋)以外の宿泊客数が増加しており、繁閑差が縮小している。



資料:京都観光総合調査

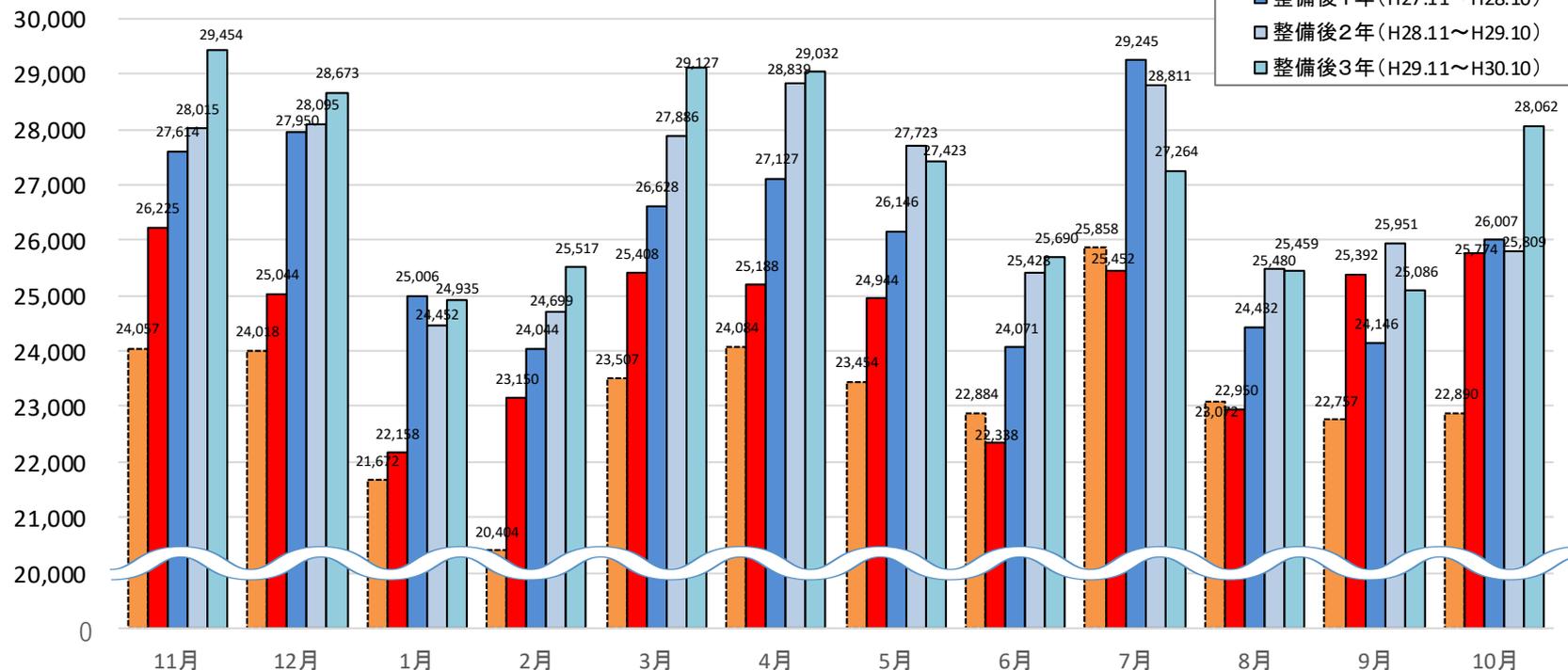
まちなかの歩行者交通量

- 四条通の歩行者数は、整備前と比べて16.8%増加しており、その後も増加傾向が継続している。

整備前：平成25年11月～平成26年10月 23,247人/日

整備後：平成29年11月～平成30年10月 27,155人/日

(人/日)



四条通の歩行者交通量

資料：地元商店街からの提供データをもとに京都市で集計

【概要】

- 京都市における交通手段分担率の経年変化を把握するため、インターネットによるアンケート調査を実施
- 併せて、市民のクルマを控える意向や、公共交通機関の利用状況等について調査

【対象者】 京都市民

【設問数】 プレ調査3問、本調査24問

【調査対象日】 平成30年10月18日(木)

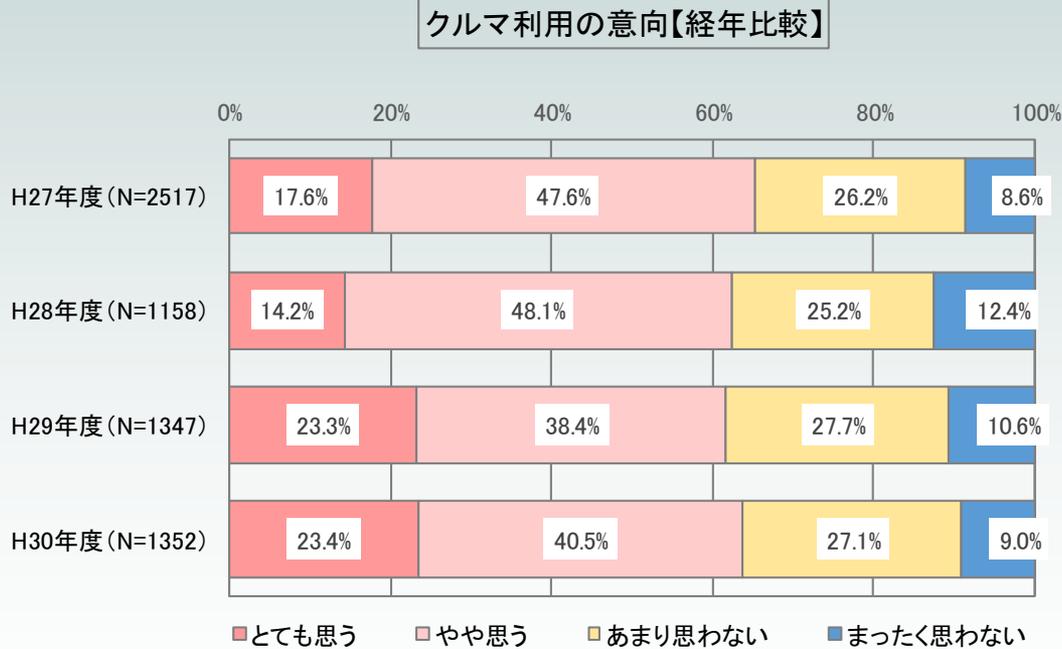
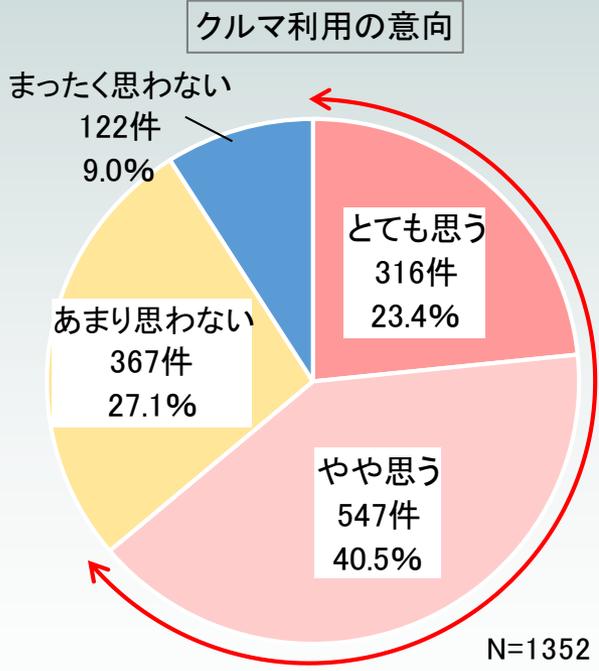
【調査期間】 平成30年10月19日～10月22日

【サンプル回収数】 1,352サンプル

クルマを控える意向(ウェブ調査より)

□ クルマを控える意向は「とても思う」「やや思う」を合わせて6割。

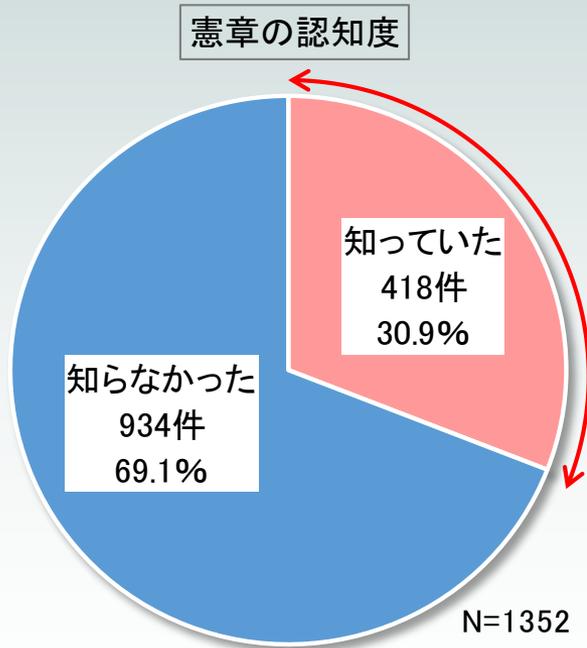
問 あなたは、クルマ利用を控えようと思われますか？



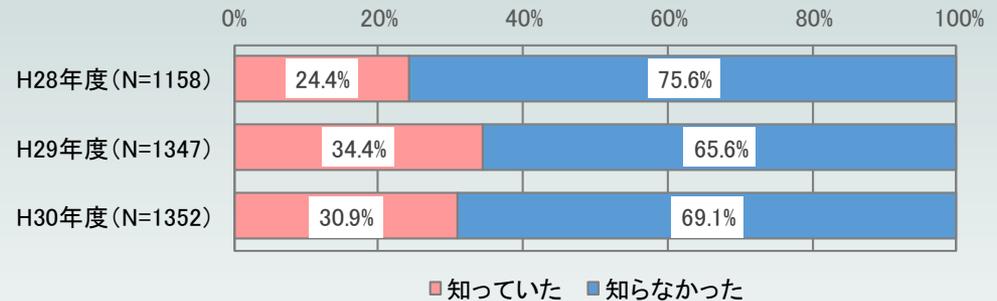
「歩くまち・京都」憲章の認知度(ウェブ調査より)

- 「歩くまち・京都」憲章の認知度は3割。
- 憲章を知っている人は、クルマを控える意向が強い。

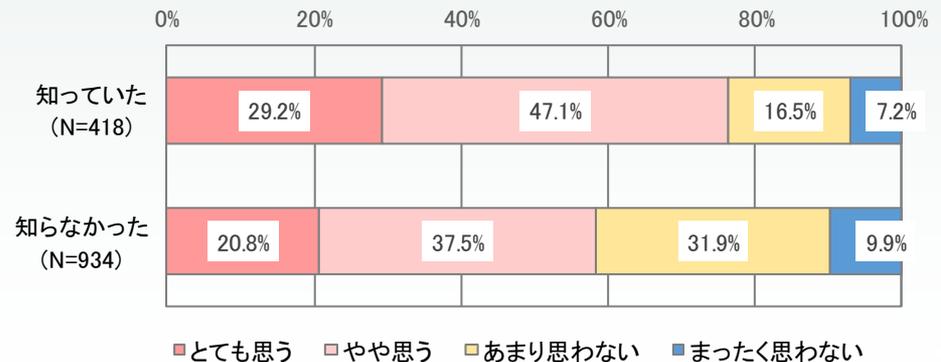
問 あなたは、「歩くまち・京都」憲章をご存知でしたか？



憲章の認知度【経年比較】



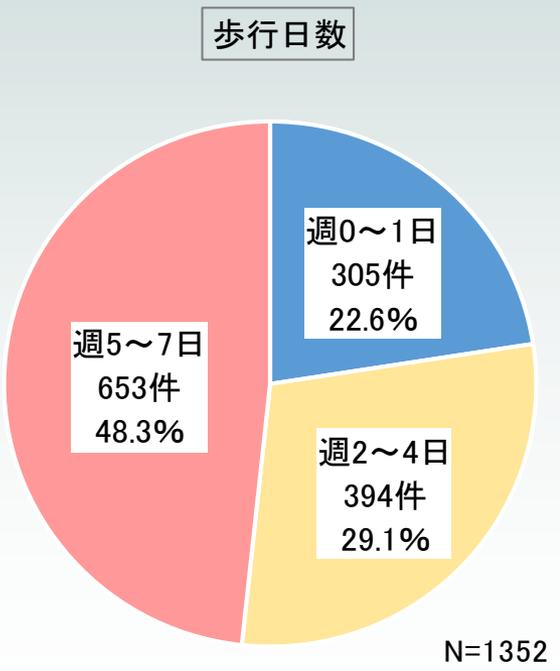
問 憲章の認知度 × 問 あなたは、クルマ利用を控えようと思われますか？



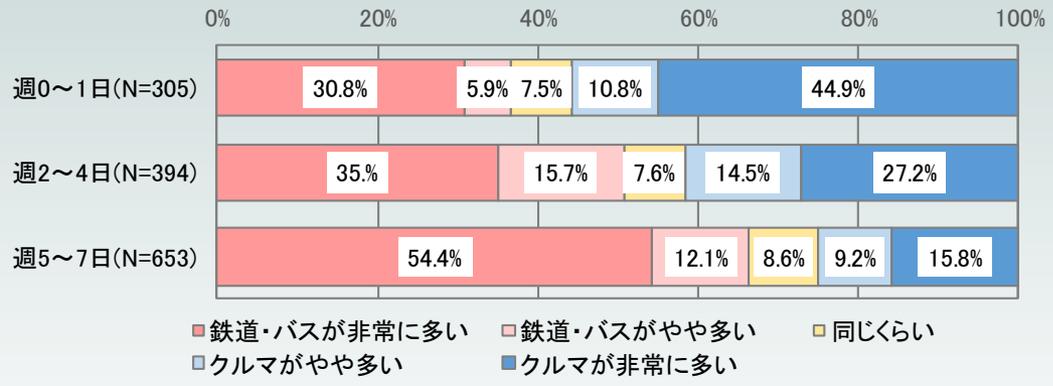
歩行習慣と公共交通の利用状況(ウェブ調査より)

- 歩行習慣のある人は、鉄道・バスの利用頻度が高く、クルマ利用を控える意向も強い。

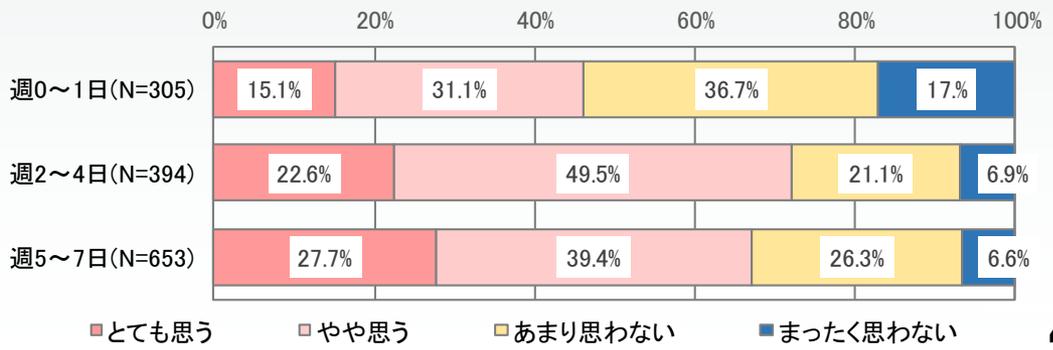
問 平均的な1週間では、10分以上続けて歩くことが何日ありますか？



問 1週間で10分以上続けて歩く日数 × 問 公共交通機関とクルマでの外出回数



問 1週間で10分以上続けて歩く日数 × 問 あなたは、クルマ利用を控えようと思われませんか？

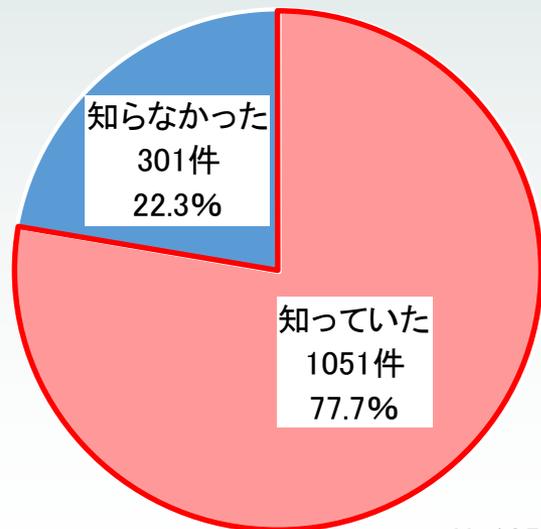


「地下鉄・バス一日券」の認知度(ウェブ調査より)

- 「地下鉄・バス一日券」は回答者数の約8割が認知。
- そのうち、値下げを知っていた人は約半数。

問 「地下鉄・バス一日券」があることはご存知でしたか？

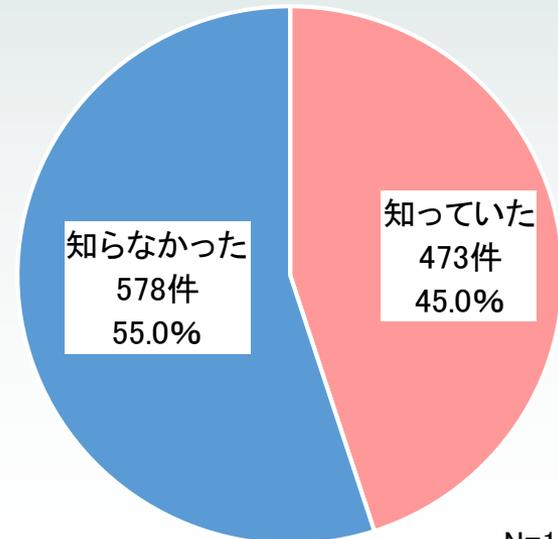
地下鉄・バス一日券の認知度



N=1352

問 今年3月に「地下鉄・バス一日券」が値下げされたことはご存知でしたか？

地下鉄・バス一日券値下げの認知度



N=1051

議題

(4)平成31年度以降の展開について

平成31年度の主な「まちづくり」の展開

京都における自動運転技術の社会実装に向けた研究

□ 自動運転の社会実装に向けた検討会議

自動運転の活用による市政課題の解決や新たなまちの魅力を生み出す可能性について、テーマを絞って議論を進め、平成31年度に京都における自動運転技術の活用のあり方について、提言を取りまとめる。

□ 自動運転の社会実装を推進するプロジェクト

事業者等と連携し、観光客等の移動需要に柔軟に対応する移動サービスなど、新たな移動サービスについての検討や実証を進める。

平成31年度の主な「既存公共交通」の展開

交通バリアフリーの推進

- 新たに、鳥羽街道駅(京阪)のバリアフリー化整備や北野白梅町駅(京福)の駅改良に着手
- 平成30年度に引き続き、西院駅(阪急)や西大路駅、桃山駅(以上、JR西日本)のバリアフリー化整備や京都駅(JR西日本)の可動式ホーム柵整備を推進
- 鳥羽街道駅(京阪)のバリアフリー化整備を進めるほか北野白梅町駅(京福)のバリアフリー化に合わせ、交通結節機能と観光案内機能の強化を目的とした駅改良を実施 NEW

平成31年度の主な「ライフスタイル」の展開

「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発

- 各種印刷物, イベント, 啓発グッズ等を活用した「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発
- 本市発行の印刷物等に, 公共交通を利用するメリット等の記事を掲載することで, 「歩くまち・京都」の理念が様々な世代の方に広まるよう努める。

交通行動スタイルの見直しを促す施策

- コミュニケーション・アンケートの実施
 - 地域が取り組むモビリティ・マネジメントへの支援
 - 学校全体で「歩くまち・京都」学習を実践
 - 市内周辺地域等において, 住民, 交通事業者, 行政が一体となったモビリティ・マネジメントを支援し, 地域に根ざした公共交通の形成に資するような取組を行う。
- ⇒ NPO法人「歩くまち・京都」フォーラムとの連携を深め, 複合的に事業を実施することで, 相乗効果を生み, 両事業を発展させる。